

もりのにぎわい通信

2015年4月26日 定例活動報告

.....

日時：2015年4月26日（土）9：30～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 12～22℃ 湿度 44% 風向 西南西 風速 5m

参加者：23人：子ども9人、大人14人（内土地改良区0人）

■活動

9:30 刈払機3台、チェンソー1台納品と取扱い説明を受ける

9:45 受付

10:00 集合

横田先生紹介

千葉市環境保全課 自然保護対策室 木津様 紹介

10:15 自然観察会他

植樹祭会場と植樹する苗木について打合せ

マツの枝片付け・・・チェンソー、軽トラ、リヤカー

11:00休憩

てんぷらの準備

作業再開

12:00昼食

13:00シイタケの菌打ちと野菜苗を植える

14:30後片付け

グリーンウェイブ準備打合せ

15:30解散

■活動報告

近隣の小中学校の授業参観などの関係で、今回は日曜日に定例会を行うことになりました。春の陽ざしをいっぱい浴びつつ自然観察会や来月予定しているグリーンウェイブ植樹祭の準備作業をすすめました。ただ、地元土地改良区の皆さんは、田植えの時期と重なったためにお休みです。ゴールデンウィーク前の休日で、いつもより参加者が激減、刈払機やチェンソー作業の人手が若干3名とは・・・。

セブン-イレブン記念財団の助成金で購入した刈払機3台とチェンソー1台が、機械屋さんから届きましたが、人手不足で機械のフル稼働とはなりませんでしたが、しかし、以前購入したタイプに比べ、軽量でコンパクトなのに驚きました。これなら、女性も積極的に除草作業や枝打ちができそうです。

そこで、有言実行枝打ちや間伐した松の太い枝を新型チェンソーで伐ってみました。以前の物とエンジンの音はさほど変わらないですが、軽くてコンパクトなところが気に入りました。早速、伐った

マツを焼却処分するために軽トラックに積んで広場に運びました。

登山やハイキングをするおしゃれな女性を山ガールと流行語になりましたが、刈払機やチェーンソーをしっかりと使いこなせる機動力のある女性にも憧れます。とは言え、森の作業は危険が伴うもの、今後しっかりとした研修を受けたいと思いました。

その頃、森もりあそび隊の親子は、横田先生の自然観察会で先生が作った紙芝居をみんなで観ていました。西洋タンポポと関東タンポポの違いを勉強したあそび隊のメンバーは、早速、関東タンポポの搜索に散らばって行きました。搜索の結果が楽しみです。

休憩を挟んで横田先生とあそび隊のメンバーは、今度は下の谷津田（アザミ谷津）に移動。てんぷらの材料となる山野草のおみやげを期待しつつ、お昼のてんぷらの準備に取り掛かりました。事前にワラビ、ヤマウド、タラの芽、コゴミを摘んでおいたのですが、あそび隊のメンバーが、摘んできたスギナ、ヨモギ、マツの新芽、タンポポ、クズの芽も加わり種類も豊富になりました。

山口先生おすすめのクズの芽のてんぷらは、癖がなくてインゲンの様な味がしたのは、私だけでしょうか。山野草の苦みのバリエーションが広がり、ワイワイ揚げたてをみんなで頂くこれは格別です。

そして、午後のあそび隊は、横田先生とシイタケの駒打ちに取り掛かりました。初参加の新1年生もご両親に手伝ってもらいながら電動ドリルで上手に穴を開けて、金槌で駒打ちを体験。二夏を過ぎた翌年の春と秋にシイタケが出てくるそうです。3年後の収穫を期待したいです。

また、恒例のミニトマト、ゴーヤ、頂いたキュウリ苗を植えました。他に森の畑でイチゴの栽培に挑戦、現在真っ白な花がいくつも咲いて、青い実もなり生育は順調（乾燥に注意）です。後は、鳥よけのネットは、ミツバチが受粉できるよう全部は塞がないなど、みんなで工夫するのも楽しいです。グリーンウェイブでイチゴ狩りができるといいですね。

解散時間を過ぎて植え残した野菜苗は、明日することで今日の作業を終えました。

皆様、初夏の様な暑さの中、自然観察会や除草作業本当にお疲れ様でした。県環境学習アドバイザーの横田先生、岡田様、自然観察会のご指導からシイタケの柵木や駒の準備、ご提供有難うございました。

(記録：星野静枝)

.....

■森もりあそび隊

タンポポ博士になろう

朝から日差しが強く汗ばむ陽気の中環境アドバイザーの横田耕明先生の自然観察会がはじまりました。

まずは横田先生の手作りのタンポポの紙芝居…今は西洋タンポポがどんどん増えて元々日本に自生していた関東タンポポが減ってきているとのこと。

それはなぜか？ということを知りやすく絵をみせながらの解説。サングラスをかけたヤンキーの西洋タンポポが関東タンポポのシマを荒らしに来てるの？という一枚の絵が^_^;

サングラスを外すと…じつはそんな悪いやつじゃないんだよ。

西洋タンポポと関東タンポポの育ち方や性質の違いを知るとうなずけます。見た目は同じように見えても花が咲いてる期間も長く種の重さが軽く綿毛が多くて遠くまで飛んでいき、子孫もたくさん増やせる西洋タンポポはオールマイティタンポポだったんです。

見分け方は花の下のがく片がそりかえっているのが西洋たんぽぽ。しっかりくっついているのが関東タンポです。今は中間のハーフタンポポが増えてきているとのこと。実際に森の中を観察して見ると

ほぼ9割が西洋タンポポで1割がハーフたんぽぽでした。今回は関東タンポポは誰も見つけることができませんでした。

アメリカから移住？

森の池でメダカを捕まえていた小学生が網の中にザリガニがいるのを発見。なんと外来種のアメリカザリガニ。なぜ放したわけではないのに池に住んでいるのか？横田先生の話では下の田んぼから移動してきたのでは？とのこと。調べてみるとアメリカザリガニは陸上でも数時間生きていけることができるため陸を数キロは移動できるとのこと。居ついたということは住みやすい環境だったのかな？

シイタケの菌打ち

山菜の天ぷらでお昼ご飯を済ませた後、子どもたちはコナラのほだ木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌コマをとんかちで打ち付けました。子どもたちの手際がよくあつという間におわり、その木をシイタケが育ちやすい半日陰の杉林の中へと運びました。持ってみてびっくり。ほだ木のとても重いこと！！しいたけの育つための栄養がたっぷり詰まっているのでしょうか。しいたけの収穫が楽しみです。

(記録：和田 みさ子)

■お知らせ ホームページもご覧ください→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、5月17日（日）に行います。

毎年恒例のグリーンウェイブ植樹祭とサツマイモの苗植を予定していますので、奮って参加ください。



タンポポの紙芝居



千葉市環境保全課木津様挨拶



横田先生のタンポポの紙芝居



タンポポ探そう!



セイヨウタンポポとカントウタンポポの違い





セブンイレブン記念財団補助金にて購入した刈払機とハデッヂェンソー

ちょっと一息



タノホ 探しへ出発



観察会終了



シイタケの菌打ち



シイタケのほだぎ掛け作成とほだぎの設置



野菜の苗植え



田んぼの大きなタニシ



左：西洋タンポポ
右：ハーフタンポポ



森の生き物たち



タンポポの茎ストロー
長くてもしっかりとのめるよ



ニホントカゲの土管の家



なぜか池に住み着いたアメリカザリガニ



春の味覚
山菜の天ぷら